



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 古川 治



会員各位

暖冬といわれる今年、ようやく例年並みの寒さが続く日々が訪れるようになりましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？年度末に向けて慌ただしい日々が続きますが、体調には気をつけて頑張ってください。

さて、今回の佐事研だよりでは、臨時的任用職員（以下臨任職員）の方を 14 名紹介します。現在、県内には 41 名（全体の約 13.7%）の臨任職員がおり、その活躍は私たちにとっても、なくてはならないものになっています。「仕事内容」、「学校に来て感じたこと」、「これから頑張りたいこと」などを書いていただいていますので、ご覧ください。



鳥栖市立鳥栖中学校 主事 長尾 遥 (4 年目)



鳥栖中学校は、複数加配校（大規模加配）で、私は主に県費業務を担当しています。主事として採用され 4 年が経過し、小・中学校どちらも経験しました。「学校に配置される事務職員の仕事・役割」と「臨採という立場」の難しさを痛感しながら日々の仕事に励んでいます。

採用 2 年目となる平成 25 年に開催された臨時的任用事務職員研修会は、私の中で最も印象に残る研修会です。「学校事務職員としての心構え」と「公立小中学校教育と学校事務職員制度」を学校事務の変遷を辿りながら学びました。また、同じ臨採として勤務する先生方と初めてお会いする貴重な機会でもありました。学校のニーズにいち早く応える実践力、予算規模に応じた財務スキル、掲げられた教育目標の実現に向けて、「行政職」という視点からサポートする力を養うために、必要な知識を身につけ、組織の一員として学校教育にどう関わっていけるかを考えなければならぬと感じました。

配属されてすぐは「上司の指示する仕事をこなす役割」という認識が強かった私ですが、さまざまな研修会を受講すること、そこで出会う事務職員の先生方と繋がりを持つこと、また、ベテラン事務職員の先生方とビジョンを共有することで、「創造仕事」へシフトしていけるよう努めています。

“臨採の事務職員は、配置されたその日から即戦力として機能しなければならない”
たくさんの研修会を受講した中で、講師の先生がおっしゃった一言がいつも消えません。

今は知識も浅く、考えや実践力もまだまだ未熟ですが、「私が学校を動かしている！」と実感できるくらい、他の事務職員の先生方と切磋琢磨し、レベルアップしていきたいです。



神崎市立千代田東部小学校 主事 杉山 朱美 (4年目)

平成25年度から、千代田東部小学校に勤務しています。千代田東部小学校は、児童が170名弱、教職員18名の比較的小さな学校です。子ども達はとても人懐こく、休み時間になると元気に外に飛び出していく子が多い明るい学校です。

東部小に来て初年度は、とにかく周りの動きについていけず、高速道路で走っていく車を右から左に眺めているような状態でした。特に、4、5月は、異動事務や例月電算報告などを支援室の事務職員の皆さんに助けてもらいながら処理していきました。それと同時に学校内の行事や仕事を並行して行っていくのですが、それもまた周囲の動きについていけず、振り返ってみますと挙動不審な動きをしていたように思います。

今ではだいぶ慣れてきましたが、職種による独特の用語や言い回し、仕事の段取り等を理解するまで時間がかかりました。

東部小は、職員が少ないため、校務分掌を一人で複数担当しています。学年会計や教科書事務、教材備品の点検作業なども事務職員の仕事ですが、今年の体育大会では人手が足らず、急きょ放送の係になりウグイス嬢も経験しました。

未だに、いろいろと失敗もして支援室の事務職員の皆さんに頼ることが多いのですが、学校内や事務職員間の和を大切にしながら、いつかはマルチに仕事がこなせる「頼れる臨任さん」に成長していきたいと思っています。



佐賀市立三瀬中学校 主事 宮崎 千絵 (7年目)

● 普段の仕事内容

予算管理・財務処理、備品管理、
学校徴収金管理事務、市費・県費諸調査処理
給与事務、施設・設備の管理、福利厚生、
その他、事務全般



● 学校に来て感じたこと

4月当初は、三瀬の自然と生徒たちの挨拶、すばらしい返事に癒されながら、自分の担当

業務を迅速・正確に処理をすることだけを心がけていました。しかし、生徒と先生（事務室も）また地域の方も距離感が近く、三瀬村という特性もあり、日々の担当業務はもちろんですが、学校行事や地域の事など、幅広くまた注意深くアンテナを張って三瀬村のこと、学校のことをもっと知りたいと感じました。

●これから頑張りたいこと

学校事務職員としての職務はもちろんですが、さらに多くのことを学びこれからの自分を高め、キャリアアップにつなげていきたいです。



佐賀市立松梅中学校 主事 橋口 朋子 (4年目)



●普段の仕事内容

松梅校中学部では、県費事務職員1名・市費嘱託職員（事務・図書兼務）1名のため、私の方で県費事務の他に学校予算管理・施設管理・消耗品／備品管理・学校徴収金、学校の校務分掌など事務全般の業務を担当しています。

●学校に来て感じたこと

私の前職は、佐賀市の学校図書館事務嘱託職員でしたので、学校という場は同じですが、仕事内容は大きく異なります。自分の中では、先生方と接する機会は増えて嬉しいのですが、逆に子ども達と接する機会が少なくなったので少し寂しく思っています。

●これから頑張りたいこと

【チーム学校】の一員として、しっかりと学校に貢献できるように、通常業務や様々なことに取り組んでいきたいと思います。また、いろいろな事へのチャレンジ精神を持ち続けたいと思います。



佐賀市立春日北小学校 主事 松尾 智美 (5年目)



県費事務の臨時職員5年目になりました。佐賀市立春日北小学校の松尾です。

県費事務職員の前は、佐賀市嘱託職員として5年働いておりましたので、学校勤務は10年目になります。以前は、短大卒業後に金融機関に勤めておりました。校納金等は、何とかなるだろうと思っておりましたが、学校事務とはそれだけの仕事ではなく、色々と幅広く手を広げれば広げるだけ仕事があるということに驚きました。

金融機関は、係ごとに分担して業務を行うので、お客様の来店で忙しい日もあれば、余裕がある日もありますが、その日だけで完結します。しかし、学校事務は違います。県・

市への提出書類や、手当等、校納金や教材の管理、未納問題、出張旅費入力や特別非常勤の先生の書類作成等など様々です。「今日することリスト」、「明日することリスト」などで確認しておかないと、わからなくなります。先生方が児童生徒との時間を確保してもらえるように、職員の事務負担軽減に貢献できる事務職員を目指し、さらに頑張りたいと思っております。



小城市立芦刈中学校 主事 平野 理美 (3年目)



昨年の4月より芦刈観瀾校・中学部にお世話になっております、平野理美と申します。

その前の2年間は、共同実施の加配職員で芦刈中、牛津小に勤務していましたが、事務長先生のサポート的な仕事をしておりましたが、単独で学校に勤務するのは初めてです。

電算報告、旅費請求事務などの県費業務は、経験したことがあったので、あまり悩むことはなかったのですが、この1年で一番苦労したのが来年度の市費予算要求書を作成することでした。小城市では、1節の報償から19節の負担金まで全ての節を編成し、要求しなければなりません。作成後は市教委とのヒアリングがあります。初めてのことでしたので、意味がよくわからない節もあり、どのように編成していったらいいのかわからず大変苦労しましたが、市内の事務の先生方から指導、助言をいただきながら何とか作成しました。予算要求書作成後、そして、市教委とのヒアリング後には、どっと疲れが出たのを今でも覚えています。しかし、今では予算編成のポイントが何となくわかったような気がしています。苦労しましたが、一番の勉強になり私の財産になりました。

常日頃から心がけていることがあります。それは、電話・来客対応です。「電話の声は明るく元気な声で」「来客に対しては親切、丁寧に」をモットーに、学校の窓口として相手の方に不快な思いをさせないように、常に心がけています。

最後に、「チーム観瀾」という組織の一員であるということを感じ、少しでも学校・子どもたちの力になれるように頑張っていきたいと思っています。また、笑顔がいっぱい溢れるような学校になればいいなあと思っています。



白石町立有明南小学校 主事 松尾 千春 (2年目)

- 普段の仕事内容 財務・施設・備品管理・学校預り金管理等・庶務
- 学校に来て感じたこと

平成26年度伊万里市の小学校で1年間学校事務の仕事をはじめて経験し、平成27年度は

白石町の有明南小学校で勤務することになりました。当初は不安もありましたが、共同実施で支援室の皆さんにご指導いただき、無事に事務処理を進めてきております。

また、当校の子ども達は素直で明るく元気よく、職員も協力的でとても仕事がしやすい環境で、いつの間にか抱えていた不安もどこかへ消えてしまっていました。1学期は、“国語・算数タイム”の丸付け、2学期は、2年生の九九が言えるか確認をするお手伝いをしました。学校行事になかなか携わる機会は少ないのですが、「南小まつりでの体験コーナー」では、パソコン体験で子ども達に名刺の作り方を教えるお手伝いをさせていただき、限られた時間内に教える難しさを実感しました。



●これから頑張りたいこと

今は目の前の仕事を処理するだけの毎日ですが、子ども達が安全に楽しく学校生活を送るための環境を整え、職員が教育活動に専念できるよう事務職員としてもっと積極的に関わっていきたいと思っています。



唐津市立浜玉中学校 主事 山口 悦子 (5年目)



私は、浜玉中学校で働いて3年目になります。任用は事務長加配ですので、事務長と2人体制で仕事をしています。浜玉中学校には、虹の松原分校という分校があり、現在は校舎建築の真最中でもあることから、たくさんの貴重な経験を積んでいます。臨任職員ではありますが、私はそのようなことは考えずに「自分のできる仕事の幅を広げる」ことを目標に仕事をしています。先生方が私にいろいろなことを聞いて来られる時には、自分のことを信頼して頼ってきてくださっているのだと嬉しく思いますし、それに応えていくためにも、自分の能力を高めていかなければならないと思っています。

また、生徒が事務室によく話を聞いてもらいにやってくることがあります。保健室とまではいきませんが、事務室が「第二の保健室」として少しでも生徒と関わっていることは、非常に大事なことではないかと思えます。おしゃべり好きな私は、つつい話しすぎてしまいますが・・・。

このように、私は事務の仕事だけではなく、先生方や生徒とのコミュニケーションも大事にしながらこれからも頑張っていきたいと思えます。



唐津市立平原小学校 主事 吉田 佑香 (3年目)



教員を志したこともなく、佐賀県に来るまで普通の会社員だった私が、まさか学校でお仕事をする事になるとは考えてもみませんでした。ご縁があって今年で3年目になりますが、正直なところ、「学校にこんなに興味深い仕事があったのか!」と目から鱗の日々です。ある程度自分の裁量で業務を進めて学校に貢献することができ、様々な可能性のある

お仕事だと感じています。2年目からは単数配置で、小規模な学校とはいえ、あらゆる業務を1人でこなすということに最初は戸惑いましたが、共同事務室の方々に多大なるご迷惑と手間をおかけしつつも、何とか慣れることができました。今後は、自分から積極的に提案ができるようにしていきたいです。知識や経験が不足している分、外から来た人間としての視点を失わないように、業務に生かしていけたらいいなと思っています。



唐津市立加唐小学校 主事 井上 彩 (1年目)

平成27年8月6日より唐津市立加唐小中学校にてお世話になっております、井上彩と申します。

しばらくの間佐賀市内で仕事をしておりましたが、臨時的任用職員に申し込んでいたところ、声をかけていただきました。学校に事務は一人だけとお聞きし、初めは「特にこれといったスキルもない、未経験の私に務まるのだろうか？」と心配しておりました。仕事が始まった当初は給与事務等を扱ったことがないため戸惑うことも多くありましたが、最近はやっと例月電算処理に慣れてきたところです。



8月からの採用でしたが、通勤届の変更やいろいろなことを行う機会があり、共同事務室の先輩方に助けていただきながら処理をしてきました。いまだにマニュアルや条例等わからないことも多く、先輩方には多くの時間をいただいております。学校の子どもの笑顔に励まされながらこれからもひとつずつ、一步一步頑張っていきますので、今後ともご指導いただきたいと思います。



伊万里市立南波多中学校 主事 佐藤 敬子 (7年目)

「学校事務をしてみない？来年度から共同実施が始まるから、分からないことがあったら支援室長に聞けば大丈夫よ。」と図書館事務補助の採用期間が3月で終わり、4月からの予定がなかった私に校長先生が声をかけてくださり、一念発起で学校事務の仕事を決めました。

若かりし頃に多少、事務職を経験したことはありました。しかし、「学校事務」という仕事は全くの畑違い、しかも学校に一人しかいないということで、「場違いな所に来てしまった」と何度も後悔しました。支援室会議では今まで聞いたことのない「専門用語」が飛び交い、「どういう意味？何のこと？」と全く理解できずにいました。こんな私のために、同じ支援室のメンバーが時間をとって、毎回分かりやすく説明してくれました。

また、学校技能主事の方と共同で作業をする機会が増え、脚立の最上段に立っての高所での電球の交換、トイレのつまりやドアの修理、電動ドリルを使っての作業など、デスクワークだけではなく学校全体を見渡し、子供たちにとって安全・安心な施設づくりも必要であることを実感しました。同時に学校事務の重要性と奥の深さを感じています。

今年で4校目の学校です。異動のたびに新しい出会いや発見があり、「また頑張ろう！」と気持ちが引きしまります。仕事面では今でも、経験のない事務をするたびに、支援室内だけではなく、市内の事務の先生方に電話で聞きまくり、時には学校まで足を運んでいただくことも数知れずあります。お手伝いくださった事務の先生に感謝感謝です。



これからも先輩の先生方のご指導のもと、学校運営に積極的に参画できるよう、様々な知識を身につけていきたいと思います。



武雄市立武雄中学校 主事 白濱 秀子 (8年目)

● 普段の仕事内容

窓口・電話対応、旅費、非常勤講師賃金、ファイル授受

● 学校に来て感じたこと

「笑顔であいさつ 共に尊び 今日自分を磨きます」
生徒会の放送で一日が始まります。

私が勤める武雄中学校は、生徒数700名弱、県費職員50名の活気あふれる大規模校です。給与明細作成、旅費システムの入力などに時間がかかり、一日があつという間に過ぎていきます。様々な認定事務に携わることができるのも大規模校の強みだと考えています。

未熟な私ですが、このような大規模校で鍛えてもらえることに感謝して、今日自分を磨くべく頑張っています。

● これから頑張りたいこと

正確・迅速・誠実を常に意識して、日々の業務に取り組みたいと思います。また、先生方とコミュニケーションをとり、仕事を円滑に進めていきたいです。

複数配置で、わからない時はすぐに聞ける環境なので、この機会にどんどん吸収していきたいと思います。



嬉野市立五町田小学校 主事 久島 美香 (8年目)

7年前、突然、学校現場で働くことになり自分に務まるのか不安でいっぱいでしたが、共同実施というサポート体制のおかげで次第に解消されていきました。周りの学校の事務職員の先生の支援がなかったら、今



こうして仕事をする事ができなかつたと思います。支援室のみなさんのフォローのおかげで、間違いなども未然に防ぐことができました。大変感謝しています。そして、共同実施や地区の事務研修会などに参加し、学校事務職員のみなさんの勉強（研究）熱心さに驚き、先輩方の厳しさの中にある温かい思いやりの気持ちにも感動しました。

今まで、3つの小学校と1つの中学校の計4校で勤務をしてきました。その間、なかなか携わることのできない「校舎大規模改修」や県外研修に参加したり「コミュニティ・スクール」を担当したりと、日常業務以外にも多くの経験を積むことができました。

7年経過した今でも、多岐にわたる業務に追われ余裕のない日々を送っていますが、学校事務職員の仕事は、やりがいを感じる仕事だと思います。



鹿島市立浜小学校 主事 山崎 優子 (3年目)

初めて共同実施に出席した日、不安でいっぱいの中、とある失敗をしました。近隣校の事務職員の先生が、「大丈夫だよ！私も、あの事務長だってきっとそうだよ。仕事を始めた頃はひとつ失敗して習得していったんだから。ちょっと凹んでもいいけど引きずらないようにしましょうね！あまり心配していませんが、何かあったらすぐ電話してね！」とお菓子のえびせんと一緒に送ってくださったメモは、今も机の中にあります。



現在の勤務校では、前に後ろに立ってサポートして下さる先生、前任の事務長の手厚い指導や、支援室のホカホカに暖かい支えがあり、優しい環境で育てていただいたことに心から感謝しています。行事盛りだくさんの学校で、子どもたちと共にお仕事をするのはとても楽しいです。子どもたちのために何か準備をしておく、直ぐに見つけ出して楽しんでくれます。



中学校で1年、小学校で2年目を経験させてもらい、小中学校両方の育てる力に感動しながら、ゼネラリストとなるべく沢山の研修で勉強させていただき、その力を学校の要望や先生方への対応に具体的に生かせるよう、また、発信していけるように頑張りたいと思います。

☆ 編集後記 ☆

佐事研だより第94号はいかがでしたか？今回原稿を執筆してくださった臨時的任用職員のみなさん、素敵な原稿をありがとうございました。

今後もみなさんによりよい情報をお伝えしたいと思いますので、投稿したい原稿やご意見・ご感想がありましたら各地区の情報推進部員までお願いします。

佐事研情報推進部